

添付書類-5

申請者が、海底下廃棄実施計画及び海底下廃棄監視計画を
適確に実施するに足る経理的基礎を有することを説明する書類

目 次

1. 申請者が, 海底下廃棄実施計画及び海底下廃棄監視計画を適確に実施するに足りる経理的基礎を有することを説明する書類 1

1. 申請者が、海底下廃棄実施計画及び海底下廃棄監視計画を適確に実施するに足りる経理的基礎を有することを説明する書類

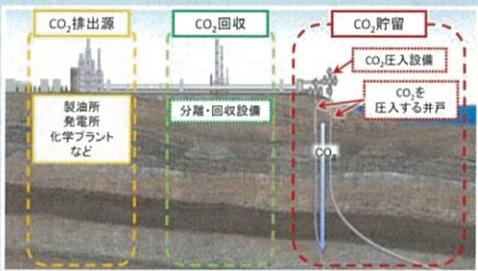
本計画に係る特定二酸化炭素ガスの海底下廃棄については、国（経済産業省）の事業として実施するものであり、特定二酸化炭素ガスの海底下廃棄およびその監視を適切かつ確実に実施する計画である。当該事業は平成 28 年度から平成 32 年度までを予定しており、本計画の実施に必要な予算を各年度において着実に予算要求し、確保する予定である。万が一、十分な予算を確保できず、本計画を変更せざるを得ない場合は、海洋汚染防止法の定めに従い、適切に対応する。また、各年度の予算決定状況については、環境省に報告する。

平成 28 年度予算については、本実証試験事業に必要な額として、69 億円が閣議決定（平成 27 年 12 月 24 日）されている。第 1-1 図に、平成 28 年度予算案に係る PR 資料を示す。

二酸化炭素削減技術実証試験事業

平成28年度予算案額 **69.0億円（89.0億円）**

産業技術環境局 環境調和産業・技術室
 03-3501-9271

| 事業の内容 | 事業イメージ | | | | | | |
|---|--|-------------|--------------------------------|-------------|-------------------------|-------------|-----------------|
| <p>事業目的・概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 二酸化炭素回収・貯留(CCS)技術の実用化のため、我が国で初となる実際の大規模排出源を利用したCCS実証試験を実施します。 ● 具体的には、製油所のオフガスから分離回収したCO2を年間約10万トン規模で地中（地下1,000m程度、3,000m程度）へ貯留する技術を実証するとともに、長期にわたってCO2の挙動を予測することが可能なシミュレーション技術やCO2のモニタリング技術等の実証を行います。 ● 平成27年度までに、実証試験に必要な設備の建設を行い、平成28年度からは、実際にCO2を地中に圧入・貯留するとともに、モニタリングを実施します。 <p>成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平成24年度から平成32年度までの9年間の事業であり、平成28年度から平成30年度まで年間10万トン規模のCO2を圧入・貯留します。本事業を通じて、CO2分離・回収(CO2濃度99%以上)から輸送、圧入、貯留、モニタリング(漏えい検知回数0回)までのCCSトータルシステムの実証を行い、CCS技術の確立を目指します。 <p>条件（対象者、対象行為、補助率等）</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">国</div> <div style="margin-right: 5px;">→ 委託</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">民間企業等</div> </div> | <p>＜CCSとは＞</p> <p>工場や発電所などから発生するCO2を大気放散する前に回収し、地中貯留に適した地層まで運び、長期間にわたり安定的に貯留する技術です。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>＜事業スケジュール＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr style="background-color: #0070c0; color: white;"> <td style="padding: 5px;">H24fy～H27fy</td> <td style="padding: 5px;">CO2分離回収設備、圧入設備及び、圧入井等の設計、調達、建設</td> </tr> <tr style="background-color: #0070c0; color: white;"> <td style="padding: 5px;">H28fy～H30fy</td> <td style="padding: 5px;">CO2圧入実証試験、CO2圧入中のモニタリング</td> </tr> <tr style="background-color: #0070c0; color: white;"> <td style="padding: 5px;">H31fy～H32fy</td> <td style="padding: 5px;">CO2圧入終了後のモニタリング</td> </tr> </table> | H24fy～H27fy | CO2分離回収設備、圧入設備及び、圧入井等の設計、調達、建設 | H28fy～H30fy | CO2圧入実証試験、CO2圧入中のモニタリング | H31fy～H32fy | CO2圧入終了後のモニタリング |
| H24fy～H27fy | CO2分離回収設備、圧入設備及び、圧入井等の設計、調達、建設 | | | | | | |
| H28fy～H30fy | CO2圧入実証試験、CO2圧入中のモニタリング | | | | | | |
| H31fy～H32fy | CO2圧入終了後のモニタリング | | | | | | |

第 1-1 図 平成 28 年度二酸化炭素削減技術実証試験の PR 資料

なお、CO₂圧入の実施に向け、平成 24 年度から平成 27 年度までは CO₂ の分離・回収・圧入設備および圧入井の整備等の設計・調達・建設を行っており、予算の確保・執行状況については、第 1-1 表のとおりである。

- 1 -

第1-1表 予算の確保・執行状況

| 年度 | 予算の確保・執行額 |
|--------|----------------|
| 平成24年度 | 2,781百万円(執行額) |
| 平成25年度 | 6,958百万円(執行額) |
| 平成26年度 | 12,704百万円(執行額) |
| 平成27年度 | 11,884百万円(予算額) |

注：執行額、予算額には、前年度からの繰越額を含む。

当省の財務状況等を説明する資料として、第1-2表に「平成26年度 経済産業省 省庁別財務書類」に掲載されている貸借対照表を示す^[1]。「省庁別財務書類」は、各省庁の財務状況等に関する説明責任の履行の向上及び予算執行の効率化・適正化に資する財務情報を提供すること等を目的として、企業会計の考え方及び手法を活用して作成するものである。

第1-2表 「平成26年度 経済産業省 省庁別財務書類」貸借対照表

| | 前会計年度 | 本会計年度 | | 前会計年度 | 本会計年度 |
|--------------------|------------------|-------------------|---------------------------|------------------|-------------------|
| | (平成26年 3月31日) | (平成27年 3月31日) | | (平成26年 3月31日) | (平成27年 3月31日) |
| <資産の部> | | | <負債の部> | | |
| 現金・預金 | 2,232,627 | 2,090,426 | 未払金 | 248 | 103 |
| 有価証券 | 670,294 | 680,652 | 支払備金 | 14,067 | 15,727 |
| たな卸資産 | 1,498,809 | 1,521,851 | 未払費用 | 2,129 | 2,354 |
| 未収金 | 34,171 | 26,582 | 前受金 | 40,174 | 41,331 |
| 未収収益 | 178 | 63 | 前受収益 | 31 | 28 |
| 前払費用 | 1,313,001 | 4,268,701 | 未経過再保険料 | 64,950 | 95,918 |
| 貸付金 | 260,937 | 253,821 | 賞与引当金 | 4,794 | 4,911 |
| その他の債権等 | 65 | 137 | 政府短期証券 | 1,207,037 | 1,204,096 |
| 貸倒引当金 | △ 9,450 | △ 7,109 | 公債 | 1,313,000 | 4,268,700 |
| 有形固定資産 | 946,046 | 906,754 | 借入金 | 4,526,527 | 4,957,149 |
| 国有財産(公共用 財産を除く) | 922,045 | 881,497 | 異常危険準備金 | 619,439 | 656,023 |
| 土地 | 251,515 | 257,818 | 退職給付引当金 | 121,657 | 113,564 |
| 立木竹 | 1,392 | 1,568 | その他の債務等 | 1,358 | 900 |
| 建物 | 32,012 | 31,888 | | | |
| 工作物 | 632,057 | 583,136 | | | |
| 船舶 | 3,776 | 6,583 | | | |
| 建設仮勘定 | 1,291 | 501 | | | |
| 物品 | 24,000 | 25,256 | 負債合計 | 7,915,417 | 11,360,810 |
| 無形固定資産 | 17,528 | 22,477 | <資産・負債差額の部> | | |
| 出資金 | 2,947,589 | 3,198,578 | 資産・負債差額 | 1,996,383 | 1,602,127 |
| 資産合計 | 9,911,801 | 12,962,937 | 負債及び資産・ 負債差額合計 | 9,911,801 | 12,962,937 |

注：単位；百万円

[1] 平成26年度 経済産業省 省庁別財務書類, p1. (経済産業省ウェブサイト：
http://www.meti.go.jp/main/kessan/fy2014/pdf/zaimushorui03.pdf, 2016/2/14アクセス)

平成26年度の貸借対照表によると、資産合計12,962,937百万円、負債合計11,360,810百万円となっており、資産合計が負債合計を上回っている。